

# さかい利晶の杜企画展 「<sup>いろいろ</sup>詩歌と彩－与謝野晶子が画家たちと紡いだ世界－」 を開催します

堺市では、さかい利晶の杜企画展「詩歌と彩－与謝野晶子が画家たちと紡いだ世界－」を開催します。

同企画展では、晶子の著作本をはじめ、掛軸や歌帖、親交の深かった洋画家との共同制作による作品を展示し、文学と美術の枠を超えて響き合う美しい作品世界を紹介します。

また、関連イベントとして、講演会、展示解説を開催します。

## 1 概要

|       |                                                                                                                                                |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 企画展名  | 詩歌と彩－与謝野晶子が画家たちと紡いだ世界－                                                                                                                         |
| 日 時   | 令和 8 年 10 月 31 日（土）～12 月 13 日（日）<br>開館時間：午前 9 時～午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで）<br>休 館 日：11 月 17 日（火）                                                 |
| 場 所   | さかい利晶の杜 企画展示室（堺市堺区宿院町西 2-1-1）                                                                                                                  |
| 観 覧 料 | 大人 300 円（240 円）、高校生 200 円（160 円）<br>※常設展示室（与謝野晶子記念館、千利休茶の湯館）と共通料金<br>※（ ）内は 10 名以上の割引料金<br>※中学生以下と堺市内在住の 65 歳以上の方は無料<br>※障害のある方とその介助者は無料（要証明書） |
| 主 催   | 堺市                                                                                                                                             |

## 2 展覧会の構成とみどころ（詳細は別紙をご確認ください。）

### 第 1 章 晶子と寛をめぐる画家たち

与謝野晶子・寛と画家たちとの関わりを、文学美術雑誌『明星』や晶子の歌集をはじめ、掛軸や歌帖を通して紹介します。公私共に親しい関係にあった洋画家との共作を展示し、文学と美術の枠を超えた美しい作品世界を紹介します。

#### <主な展示品>

歌帖「採花帖」 晶子歌・筆／正宗得三郎画（昭和 6 年（1931）） 堺市博物館所蔵

歌集『火の鳥』 晶子著／中澤弘光挿絵・装幀（大正 8 年（1919）） 堺市博物館所蔵

## 第2章 石井柏亭との交流

与謝野晶子・寛と画家の石井柏亭（明治15年～昭和33年（1882～1958））に関する作品を展示し、文化学院を共に創設した3人の交流関係を紹介します。初公開となる柏亭の画幅「十二月月」は、梅や桜、睡蓮や菊など季節ごとの植物が描かれた作品です。

<主な展示品>

《初公開》画幅「十二月月」石井柏亭画（年代不明） 堺市博物館所蔵

## 3 関連イベント

### ①記念講演会「美しい本について」

|       |                                                                                                                                                                  |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時   | 令和8年11月7日（土） 午後2時～午後3時30分                                                                                                                                        |
| 講 師   | 井上 芳子 氏（和歌山県立近代美術館専門員）                                                                                                                                           |
| 会 場   | さかい利晶の杜 講座室                                                                                                                                                      |
| 定 員   | 先着40人                                                                                                                                                            |
| 参 加 費 | 無料                                                                                                                                                               |
| 申込方法等 | 申込開始日時：10月1日（木）午前9時<br>予約サイト（ <a href="https://reserva.be/sakairishonomori">https://reserva.be/sakairishonomori</a> ）<br>または、さかい利晶の杜（072-260-4386）へ電話でお申し込みください。 |

### ②学芸員による展示解説

|       |                                                |
|-------|------------------------------------------------|
| 日 時   | 令和8年11月3日（火・祝）、12月5日（土）<br>※各日午後1時30分から（30分程度） |
| 会 場   | さかい利晶の杜 企画展示室                                  |
| 参 加 費 | 無料（展示観覧券が必要）                                   |
| 申 込   | 不要 ※開始時間までに企画展示室前に集合してください。                    |

## 4 その他

企画展や各イベントの詳細は、以下のさかい利晶の杜ホームページをご確認ください。

<https://www.sakai-rishonomori.com/>

|                            |                                                                                |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 問<br>い<br>合<br>わ<br>せ<br>先 | 担 当 課：文化観光局 歴史遺産活用部 博物館 学芸課（さかい利晶の杜）<br>電 話：072-260-4862<br>ファックス：072-238-0150 |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|

### ・歌帖「採花帖」 堺市博物館所蔵

洋画家の正宗得三郎（明治 16 年～昭和 37 年（1883～1962））が四季折々の花を描いた絵と、与謝野晶子の短歌が書かれた扇面が 10 面収録された歌帖です。箱書きには「昭和 6 年夏 大阪客中 与謝野晶子しるす」とあり、昭和 6 年（1931）に大阪を訪れた際に制作されたことが分かります。それぞれの中央に描かれた色彩豊かな花の絵に、晶子の繊細な文字が書き添えられた格調高い作品です。

【写真】の扇面に書かれた短歌「月見草あめののちなる山松のしづくちるなりきにひらく時 晶子」は、歌集『火の鳥』（大正 8 年（1919）刊行）に収録されています。



### ・歌集『火の鳥』 堺市博物館所蔵

与謝野晶子の第 16 番目の歌集で、大正 8 年（1919）に刊行されました。挿絵と装幀は洋画家の中澤弘光（明治 7 年～昭和 39 年（1874～1964））が担当し、色とりどりの色彩や金が背表紙や表紙に使われるなど、晶子の著作本の中で最も豪華絢爛な書籍と言えます。

歌集中には「物云へば今も昔も淋しげに見らるる人の抱く火の鳥」の歌があり、晶子自身の内面を感じさせます。巻末には、夫の寛が『火の鳥』に就（つい）て」と題し、火の鳥の起源や考証を説明している文章が掲載されています。



・【初公開】石井柏亭画幅「十二月」 堺市博物館所蔵

洋画家の石井柏亭（明治 15 年～昭和 33 年（1882～1958））が描いた画幅 12 幅を一堂に初公開します。梅や桜、睡蓮や菊など季節ごとの植物が描かれた淡彩画です。掛軸の箱には、「梅もどき 十二月」と書かれています。

柏亭は幼少期に父から日本画を学び、明治 43 年（1910）にヨーロッパで学んだ西洋画の手法を取り入れ、二科会及び一水会を創立するなど近代美術の発展に貢献しました。

与謝野晶子・寛と柏亭との親交は明治 35 年（1902）頃から始まり、雑誌『明星』に柏亭の挿絵をはじめ、詩や時評などが掲載されました。大正 10 年（1921）には共に文化学院の創設に関わり、芸術的な自由教育を行いました。

昭和期には、晶子と柏亭が共作した書画幅が雑誌で頒布募集されるなど、積極的に制作が進められました。本画幅は、二人の共作ではありませんが、東洋の伝統的な形式である掛軸に、洋画家である柏亭の絵が描かれた新しい美を感じさせます。

